

豚流行性下痢（PED）ワクチンの効果

国内で使用しているPEDワクチンは、
現在国内で流行しているPEDに有効です。

試験により、次のことが確認されました。

- ワクチンを接種した豚が体内で作った抗体と現在国内で流行しているPEDウイルスを反応させたところ、**ウイルスの増殖を十分に抑えた**ことから、**ワクチンは国内で流行しているPEDウイルスに有効**であると考えられます。
- ワクチンを接種した母豚から生まれ、その乳汁を飲んだ子豚は、国内で流行しているPEDウイルスに感染した場合の**死亡率が低下**（接種しない場合：8割 → 接種した場合：3割以下）したことから、**母豚へのワクチン接種により、国内で流行しているPEDウイルスによる子豚への被害が軽減**できると考えられます。



ワクチンの効果を十分に引き出すために、

- 衛生管理の徹底（こまめな排せつ物処理、消毒など）により、**農場にウイルスを入れないことが重要です。**
- ワクチンの効果は、**母豚からの授乳により子豚に伝わります。**母豚が感染して正常に授乳できなかったり、子豚がしっかりと哺乳できなければワクチンの効果が半減します。
- 子豚や肥育豚にワクチンを注射しても効果はありません。



平成26年4月

農林水産省消費・安全局
畜水産安全管理課